

- 問1 産業革命の影響と、労働者の動きについて述べた次の文のうち、歴史的な事実として正しいものはどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 日本では、江戸時代の間屋制家内工業が発展する中で、工場労働者による大規模な労働組合が世界に先駆けて結成された。 | 2. イタリアでは、産業革命の開始と同時に社会主義による計画経済が導入されたため、労働組合は組織されなかった。 | 3. イギリスでは、労働環境の悪化に対抗するため労働組合が作られ、やがて選挙権の拡大を求める運動などにもつながった。 | 4. イギリスの労働者は、機械の導入を歓迎して労働時間を自発的に延長し、輸出額の増加を全面的に支援した。 |
|--|---|--|--|
- 問2 室町時代に京都で発生した応仁の乱では、それまでの戦い方とは異なる特徴を持つ「足軽」が活躍しました。この足軽に関する記述として、歴史的な背景を踏まえた正しいものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 一遍の教えに感銘を受けた農民たちが、平和な世の中を実現するために自発的に結成した自衛組織であった。 | 2. 江戸時代末期に「ええじゃないか」の騒動を鎮圧し、開国による混乱を収めるために幕府が雇った傭兵であった。 | 3. 主に徒歩で戦う歩兵であり、集団での戦闘や略奪を行うなど、戦乱による社会の混乱を象徴する存在であった。 | 4. 藤原道長による摂関政治を軍事面から支えるために組織された、貴族専属の精鋭部隊であった。 |
|--|--|---|--|
- 問3 1825年に出された異国船打払令では、日本に近づく外国船を無差別に追い返すよう命じていましたが、1842年に幕府はその方針を転換しました。このとき、遭難した外国船に対して燃料や食料、水などを与えて帰帆させることとした法令を何といいますか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| 1. 公事方御定書 | 2. 薪水給与令 | 3. 異国船打払令 | 4. 武家諸法度 |
|-----------|----------|-----------|----------|
- 問4 1867年、東海や近畿地方を中心に、編み笠を被った大勢の民衆が「お札が降ってきた」という噂をきっかけに、通りで入り乱れて熱狂的に踊り歩いた騒動を何と呼びますか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|--------|---------|
| 1. ええじゃないか | 2. 秩父事件 | 3. 米騒動 | 4. 御蔭参り |
|------------|---------|--------|---------|
- 問5 19世紀半ば、ペリー率いるアメリカ艦隊（黒船）が来航した際、これらの船はそれまでの帆船とは異なり、風の力を使わずに自力で航行することが可能でした。イギリスで始まった産業革命の技術革新によって開発され、石炭を燃料として大きな動力を生み出したこの装置の名称として適切なものはどれですか。 (2019年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|-------------|-----------|
| 1. 蒸気機関 | 2. 水車 | 3. ガソリンエンジン | 4. 電気モーター |
|---------|-------|-------------|-----------|
- 問6 南北戦争が始まる前の時期における、アメリカ北部の主張や状況として正しいものはどれですか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| 1. イギリスからの独立を勝ち取るために、フランスと軍事同盟を結んでいた | 2. 金本位制の導入をめぐる、西部の農民と激しく対立していた | 3. 自国の工業を発展させるために保護貿易を主張し、奴隷制には反対していた | 4. 綿花を輸出するために自由貿易を主張し、奴隷制の維持を求めている |
|--------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
- 問7 19世紀前半、江戸幕府は日本の沿岸に近づく外国船を無差別に追い返す「異国船打払令」を出していましたが、1842年には方針を転換し、新や水、食料を与えて帰帆させる「薪水給与令」を出しました。幕府がこのような方針転換を行う直接的な背景となった、清がイギリスに敗北した出来事を選択肢から選びなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|----------------|
| 1. アヘン戦争 | 2. 辛亥革命 | 3. 日清戦争 | 4. 矢面事件（アロー戦争） |
|----------|---------|---------|----------------|
- 問8 19世紀、欧米列強のアジア進出が加速するきっかけとなった南京条約の内容とその影響について説明した文として、正しいものはどれですか。 (2018年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|-------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 長崎・神奈川・函館など5つの港を開港し、自由貿易を開始することを認めた。 | 2. 賠償金の支払いとともに、朝鮮を独立国として認めることを約束した。 | 3. ロシアの南下を阻止するため、清とイギリスが対等な同盟関係を結んだ。 | 4. イギリスへの香港の割譲や、上海などの5つの港の開港を認めた。 |
|---|-------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
- 問9 1861年から始まったアメリカの南北戦争の最中、ゲティスバーグでの演説において「人民の、人民による、人民のための政治」という言葉を述べ、民主主義の原点を示した大統領は誰ですか。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|---------|------------------|---------------|
| 1. ジョージ・ワシントン | 2. リンカン | 3. フランクリン・ルーズベルト | 4. トマス・ジェファソン |
|---------------|---------|------------------|---------------|
- 問10 1858年に結ばれた日米修好通商条約は、日本にとって不平等な内容を含んでいました。その不平等な点についての説明として、当時の日本の状況を正しく表しているものはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 日本に領事裁判権（治外法権）が与えられたが、アメリカが日本の輸入関税を決定する仕組みになっていた。 | 2. 日本に寄港する外国船に対して薪水や食料を供給することを義務付けられたが、貿易の権利は制限されていた。 | 3. 日本国内で罪を犯した外国人をその国の領事が裁くことを認め、日本に輸入関税を自主的に決める権利がなかった。 | 4. 外国人に領事裁判権を認めさせた一方で、日本が輸入品にかかる税率を自由に決定できる権利を保持していた。 |
|--|---|---|---|
- 問11 1858年に調印された日米修好通商条約に基づき、日本は五つの港を外国に開くことになりました。この五港のうち、2019年にラグビーワールドカップの会場となった十二の都市（札幌、釜石、熊谷、調布、横浜、袋井、豊田、東大阪、神戸、福岡、大分、熊本）にも含まれている都市の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2019年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 新潟と札幌 | 2. 横浜と神戸 | 3. 福岡と熊本 | 4. 長崎と函館 |
|----------|----------|----------|----------|
- 問12 幕末の開国にともなって外国との貿易が始まると、日本の国内経済には大きな変化が生じました。この時期、人々の生活が苦しくなった主な原因として正しい説明はどれですか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 生糸や茶などの生活関連品が大量に輸出されたことで国内が品不足となり、物価が急激に上昇したため。 | 2. 外国から安価な製品が大量に流入したことで国内の産業が衰退し、深刻な物価の下落が発生して失業者が増えたため。 | 3. 外国貨幣が大量に持ち込まれたことで日本の貨幣価値が極端に高まり、庶民が国内の物資を購入できなくなったため。 | 4. 幕府が貿易を完全に独占して国内流通を制限したため、商品の流通がストップし、全国的な飢饉が発生したため。 |
|--|--|--|--|
- 問13 19世紀半ばの開国に関する出来事について、日米和親条約の内容として正しい説明を選択してください。なお、開港された場所は、現在の静岡県伊豆半島の先端部分と、北海道の南端部分に位置しています。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 外国の軍艦を警戒するため、江戸に近い浦賀と館山の2港が開港された。 | 2. 燃料や食料を補給するため、下田と箱館の2港が開港された。 | 3. 開国後も外国人の行動を制限するため、出島のある長崎のみが維持された。 | 4. 本格的な貿易を開始するため、下田に代わって横浜と長崎が開港された。 |
|--------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 イギリスでは、労働環境の悪化に対抗するため労働組合が作られ、やがて選挙権の拡大を求める運動などにもつながった。	イギリスの労働運動は、単なる待遇改善にとどまらず、政治への参加（チャーティスト運動など）にも発展しました。なお、問屋制家内工業は産業革命以前の生産形態であり、労働組合とは異なります。また、イタリアの計画経済や機械の導入を無条件に歓迎したという記述も事実と反します。
問2	答え 3 主に徒歩で戦う歩兵であり、集団での戦闘や略奪を行うなど、戦乱による社会の混乱を象徴する存在であった。	室町時代中期の応仁の乱では、特定の主君を持たず、報酬目的で動員された「足軽」と呼ばれる歩兵が戦いの中心的な役割を果たしました。彼らは従来の騎馬武者による一騎打ち形式の戦いを一変させ、集団戦や市街地での放火・略奪を行うなど、社会の無秩序化を加速させました。これは、家柄や伝統を重んじる中世的な秩序が崩れ、実力主義の下剋上の時代へと移行する過渡期の現象と言えます。
問3	答え 2 薪水給与令	江戸幕府は1842年、それまでの強硬な姿勢を改め、外国船に薪（燃料）や水、食料を分け与える薪水給与令を出しました。これは、隣国の清がアヘン戦争でイギリスに敗れたという情報が伝わり、幕府が西洋列強との直接的な軍事衝突を避けようとしたために行われた方針転換です。
問4	答え 1 ええじゃないか	幕末の動乱期である1867年に発生した「ええじゃないか」は、編み笠などの仮装をした民衆が熱狂的に踊り歩くという特異な社会現象でした。これは単なる騒ぎではなく、古い秩序が崩壊する中で民衆が抱いた「世直し」への期待が爆発した姿であると解釈されています。
問5	答え 1 蒸気機関	18世紀後半にイギリスで始まった産業革命により、石炭を燃料とする蒸気機関が実用化されました。これにより、風や潮流といった自然の力に依存せず、強力な動力を得ることが可能になりました。ペリーの来航した「黒船」は、この蒸気機関を搭載した軍艦を含んでおり、当時の日本人に技術的な衝撃を与え、開国を促す大きな要因となりました。
問6	答え 3 自国の工業を発展させるために保護貿易を主張し、奴隷制には反対していた	北部は商工業が発達していたため、イギリスなどの製品に高い関税をかけて国内産業を守る「保護貿易」を求めています。また、工場で働く自由な労働力を確保する観点からも、奴隷制には反対の立場をとっていました。
問7	答え 1 アヘン戦争	江戸幕府は1825年に異国船打払令を出して強硬な姿勢をとっていましたが、1840年に始まったアヘン戦争で、当時アジアの大国であった清がイギリスの圧倒的な軍勢力の前に敗北した情報を得ました。この出来事に衝撃を受けた幕府は、西洋諸国との無用な武力衝突を避けるために政策を緩和し、遭難した外国船に補給を認める薪水給与令を出して、対外政策を軟化させました。
問8	答え 4 イギリスへの香港の割譲や、上海などの5つの港の開港を認めた。	南京条約では、清はイギリスに対して香港を譲り渡す（割譲）とともに、上海や広東など5つの港を開港することを認めさせられました。この出来事は、当時の江戸幕府に強い衝撃を与え、日本が異国船打払令を改めて薪水給与令を出すなど、外交方針を転換させる要因の一つとなりました。朝鮮の独立に関する記述は下関条約、長崎等の開港は日本の日米修好通商条約の内容です。
問9	答え 2 リンカン	19世紀半ばのアメリカ合衆国では、奴隷制の存廃や貿易政策の相違から、北部と南部の対立が激化し、南北戦争が勃発しました。北部を率いたリンカンは、戦争の目的が単なる領土の維持だけでなく、自由と民主主義を守ることにあると演説で強調し、後に「奴隷解放の父」とも称されるようになりました。
問10	答え 3 日本国内で罪を犯した外国人をその国の領事が裁くことを認め、日本に輸入関税を自主的に決める権利がなかった。	この条約には、日本側にとって不利な二つの大きな特徴がありました。一つは、外国人が日本で犯罪を犯しても日本の法律で裁くことができない「領事裁判権（治外法権）」を相手国に認めたことです。もう一つは、輸入品にかかる税率を日本側が自由に決められない「関税自主権の欠如」です。これらの不平等条項を撤廃することは、明治以降の日本における外交上の最優先課題となりました。
問11	答え 2 横浜と神戸	日米修好通商条約によって開港が定められたのは、函館、神奈川（現在の横浜）、兵庫（現在の神戸）、長崎、新潟の五港です。このうち、ラグビーワールドカップの開催都市リストに含まれているのは横浜と神戸になります。長崎、函館、新潟も開港場ですが、今回のラグビーワールドカップの開催地には選ばれていません。
問12	答え 1 生糸や茶などの生活関連品が大量に輸出されたことで国内が品不足となり、物価が急激に上昇したため。	開国後の貿易では、生糸や茶などが主要な輸出品となりましたが、これらが大量に海外へ流出したことで国内向けの物資が不足しました。また、金と銀の交換比率が内外で異なっていたことから大量の金が国外へ流出し、それに対応するために幕府が質の劣る貨幣を発行したことも、さらなる物価の上昇（インフレーション）を招く要因となりました。このように物資の不足と貨幣制度の混乱が重なったことで、庶民の生活は非常に苦しくなりました。
問13	答え 2 燃料や食料を補給するため、下田と箱館の2港が開港された。	日米和親条約は、日本の鎖国体制を終わらせた最初の条約です。このとき、アメリカ側が求めたのは貿易の拠点ではなく、捕鯨船などが寄港できる補給基地の確保でした。そのため、江戸から一定の距離があり、管理がしやすい伊豆半島の下田と、北の拠点である箱館が選ばれました。自由な貿易が始まるのは、1858年の日米修好通商条約以降のことです。